

通信モジュール変更とバージョンアップファイルに関するお知らせ

2013 年 10 月 30 日

【 通信モジュール変更のお知らせ 】

2013 年 7 月より HL330-D の通信モジュールが EM770W(ファアーウェイ)から PH8-J(シンテリオン)に変更となりました。

尚、通信モジュールの違いによる本装置の寸法等の変更はございません。

【 バージョンアップファイルに関するお知らせ 】

通信モジュールの違いにより、ファームウェアが異なります。ファームウェアに関する詳細は HL330-D バージョンアップページをご確認ください。

(http://www.i-netd.co.jp/products/hsdpa/hl330-d/ver_up.htm)

上記のため、バージョンアップを行う前に必ず通信モジュールの確認を行い、対応したバージョンアップファイルをダウンロードして頂く必要があります。

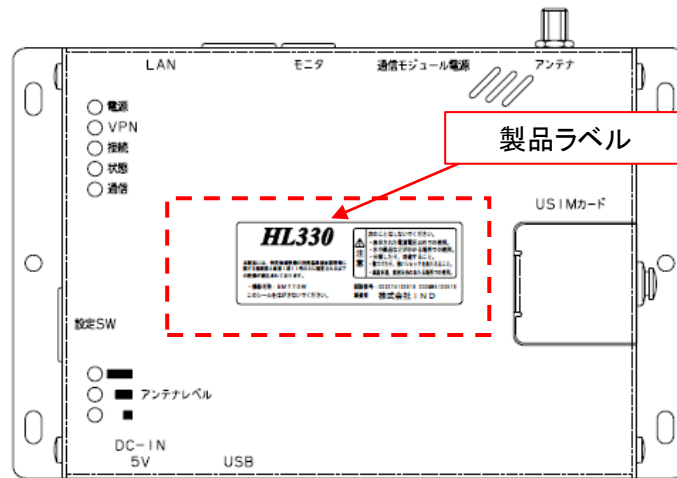
※ 間違った通信モジュールのバージョンアップファイルを使用した場合、正常な動作を行わなくなる恐れがあります。

※ 通信モジュールの確認やバージョンアップを行う場合は一度弊社へお問い合わせください。

◆通信モジュール確認方法

【 製品ラベルによる確認 】

筐体上部の製品ラベルに記述されている機器名称にて通信モジュールの確認が行えます。



| | |
|---|--|
| <h1>HL330</h1> <p>本製品には、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則第2条第1項11号の3に規定される以下の設備が組込まれております。</p> <p>・機器名称：EM770W このシールをはがさないでください。</p> | <p>次のことはしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">・表示された電源電圧以外での使用。・水や薬品などがかかる場所での使用。・分解したり、改造すること。・傷つけたり、強いショックをあたえること。・高温多湿、直射日光のあたる場所での使用。 <p>⚠ 注意</p> <p>認証番号：003XYA100518 003MWA100519 製造者 株式会社 i N D</p> |
|---|--|

上記の様に、機器名称:EM770W と記載がある場合、EM770W が組込まれています。

→ “EM770W”用のバージョンアップファイルを使用してください。

| | |
|---|---|
| <h1>HL330</h1> <p>本製品には、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則第2条第1項11号の3及び7に規定される以下の設備が組込まれております。</p> <p>・機器名称：PH8-J このシールをはがさないでください。</p> | <p>次のことはしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">・表示された電源電圧以外での使用。・水や薬品などがかかる場所での使用。・分解したり、改造すること。・傷つけたり、強いショックをあたえること。・高温多湿、直射日光のあたる場所での使用。 <p>⚠ 注意</p> <p>工事設計認証番号 202-SMA013 製造者 株式会社 i N D</p> |
|---|---|

上記の様に、機器名称:PH8-J と記載がある場合、PH8-J が組込まれています。

→ “PH8-J”用のバージョンアップファイルを使用してください。

【 設定画面による確認 】

WEB 設定画面にログインして頂き、本体設定:バージョンにてファームウェアバージョンを確認することで通信モジュールの確認が行えます。

※本方法で確認を行う場合、必ずバージョンアップ前に確認して頂く必要があります。

| 本体設定 | |
|-------|-------------|
| 仮保存 | |
| 本体型番 | HL330-D |
| 製造番号 | ■■■■■ |
| バージョン | 1.40 (k1.2) |
| ホスト名 | ind_hl330 |

下記のように記載されている場合、EM770W が組込まれています。

→ “EM770W”用のバージョンアップファイルを使用してください。

例) バージョン : 1.** (k1.2)

カーネルバージョン

本体バージョン

※本体バージョンの横に“p”の表記がないこと

| 本体設定 | |
|-------|--------------|
| 仮保存 | |
| 本体型番 | HL330 |
| 製造番号 | ■■■■■ |
| バージョン | 1.42p (k1.3) |
| ホスト名 | ind_hl330 |

下記のように記載されている場合、PH8-J が組込まれています。

→ “PH8-J”用のバージョンアップファイルを使用してください。

例) バージョン : 1.**p (k1.3)

カーネルバージョン

本体バージョン

※本体バージョンの横に“p”の表記があること

【 動作ログによる確認 】

WEB 設定画面にログインして頂き、動作ログにて通信モジュールの確認が行えます。

動作ログ

ログ読み出し

```
70/01/01, 09:00:16, START_HL330
70/01/01, 09:00:22, MODULE_OK
70/01/01, 09:00:25, REGISTERED_TO_NETWORK
70/01/01, 09:00:25, ANTENNA_3
70/01/01, 09:00:25, RSSI_15
70/01/01, 09:00:35, PPP_CONNECTED
70/01/01, 09:00:35, PPP_LOCAL_IP=183.72.69.156
70/01/01, 09:00:35, PPP_REMOTE_IP=10.64.64.64
```

上記の様に、起動後のログに“MODULE_OK”と表示される場合は EM770W が組込まれています。

→ “EM770W”用のバージョンアップファイルを使用してください。

動作ログ

ログ読み出し

```
70/01/01, 09:00:12, HL330_CINTERION_START
70/01/01, 09:00:12, version=1.42p
70/01/01, 09:00:14, MODULE_PH8
70/01/01, 09:00:15, REVISION_03.001
70/01/01, 09:01:00, REGISTERED_TO_NETWORK
70/01/01, 09:01:07, ANTENNA_3
70/01/01, 09:01:07, RSSI_15
70/01/01, 09:01:19, PPP_CONNECTED
70/01/01, 09:01:20, PPP_LOCAL_IP=10.0.11.101
70/01/01, 09:01:20, PPP_REMOTE_IP=10.64.64.64
```

上記の様に、起動後のログに“MODULE_PH8”と表示される場合は PH8-J が組込まれています。

→ “PH8-J”用のバージョンアップファイルを使用してください。

<注意>

動作ログページには 100 行分のログが表示されますが、それ以降は古いものから順に表示されなくなります。このため、長時間連続で動作されている場合、動作ログページにログが表示されないことがあります。この場合はログ読み出しにて cvs ファイルをダウンロードし、内容を確認して頂く必要があります。